

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	139,410千円	145,362千円	136,716千円	0千円
	総人件費	5,129千円	4,975千円	4,975千円	
	総事業コスト	144,539千円	150,337千円	141,691千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道監視センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(委託料)

事務事業名	配水場等施設の維持管理及び運転管理業務				指標名	業務実績				指標種別	活動結果指標				指標の概要	-				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-				実績	365	366	365	365	365	366	365					その他の指標	-		
	-																			
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度										
	-					適正な業務の履行を確保するため、業務受託者に対し監督・指導を強化する。				適正な業務の履行を確保するため、業務受託者に対し監督・指導を強化する。										
	-																			
市長公約	-				事業計画	平成29年度以降の委託業務については、業務内容の見直しを行い、更なる水道水の安定供給に向け取り組みます。				平成30年度以降の委託業務については、業務内容の見直しを行い、更なる水道水の安定供給に向け取り組みます。										
個別計画	-																			
根拠法令等	水道法第24条の3																			
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	平成30年3月31日現在、運転監視業務(浄・配水場の巡視点検及び末端の水質管理を含む。)、電気設備、計装設備、自家発電設備、機械設備、薬液注入設備の各定期点検業務のほか、自家用電気工作物保安管理消防設備等点検、階段昇降機整備点検、自動門扉整備点検、配水池等清掃、事務室等清掃、保安業務の計13項目を包括的に実施しました。				上半期活動実績										
執行体制	全て委託																			
事業の目的	配水場等施設の適切な運転及び維持管理を実施し、お客様である水道使用者に安心してご利用いただける、安全な水道水を常に安定的に供給するため。																			
事業の概要	水道法第24条の3の規定に基づき、浄配水場施設の運転管理等業務を委託する。				成果	平成30年3月31日現在、従来、職員が行っていた運転管理業務を民間企業へ第三者委託したことにより、民間の技術やノウハウを活用することで維持管理業務の充実が図れました。また、水道事業体にとって技術者の確保が困難な状況のなかで、技術的に難しくなる浄・配水場の運転管理や水質管理など、技術上の業務を継続的に実施することができました。				上半期成果										
						課題	水道事業に携わる専門職員の人数が減少しています。これは、全国の事業体に共通する傾向です。当該第三者委託事業もこの流れの一環により実施していますが、同時に委託事業を監督する立場である職員の育成も必要となっています。				課題									
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-							
	H30 環境関連性	-				有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-								
		-				効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-								
	-				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	0									
															事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
															事業費(A)	139,410千円	145,362千円	136,716千円	0千円	
															国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
															その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
															一般財源	139,410千円	145,362千円	136,716千円	0千円	
															人件費(B)	5,129千円	4,975千円	4,975千円		
															正職員	従事割合	0.70人	0.70人	0.70人	
															正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
															臨時職員等	無	無	無		
															事業コスト(A+B)	144,539千円	150,337千円	141,691千円		
															H31年度当初積算根拠	-				
															H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	4,393千円	4,438千円	4,995千円	0千円
	総人件費	5,129千円	4,975千円	4,975千円	
	総事業コスト	9,522千円	9,413千円	9,970千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道監視センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(共同水質検査手数料)

事務事業名	- 水質検査事業				指標名	検査実績(回)				指標種別	活動結果指標				指標の概要	水道水が水質基準に適合していること。		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	- - - -				実績	12	12	12	12	12	12	12					その他の指標	検査実施回数
	- - - -					12	12	12	12	-								
総合戦略	- - - -				改善目標	H29年度				H30年度								
	- - - -																	
	- - - -																	
市長公約	-				事業計画	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成するため取り組んでまいります。				水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成するため、取り組んでまいります。								
個別計画	-																	
根拠法令等	水道法第20条				活動実績	平成30年3月31日現在、水道水質基準を順守することを平成29年度の取組み方針として、事業を推進し、すべての水質検査結果が水質基準に適合していることを確認しました。				上半期活動実績								
事業分類	C 義務的事业																	
執行体制	全て委託				成果	平成30年3月31日現在、水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、その検査結果が水道水質基準を超過したことはなく、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成しました。				上半期成果								
事業の目的	水道利用者が安心して飲用できるよう、常に安全で良好な水質であることを確認するため。																	
事業の概要	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく項目、頻度等により水質検査を実施することで、水道水が水質基準に適合していることを確認する。				課題													
ISO 14001	H29 環境関連性	○ その他			事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		-		事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況		-	
	H30 環境関連性	-			有効性		中:適切な成果が得られている				有効性		-					
				効率性		中:適切な費用対効果が得られている				効率性		-						
				総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-						
				事業コスト		9,522千円		4,975千円		9,970千円		H31年度当初積算根拠		-				
				人件費(B)		5,129千円		4,975千円		4,975千円		H31年度当初積算根拠		-				
				正職員		従事割合		0.70人		0.70人		0.70人						
				時間外勤務		0.00時間		0.00時間		0.00時間								
				臨時職員等		無		無		無								
				事業コスト(A+B)		9,522千円		4,975千円		9,970千円								
				H31年度当初積算根拠		-		-		-								
				H31年度の方向性		-		理由		-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	10,666千円	5,588千円	9,720千円	0千円
	総人件費	4,396千円	4,265千円	4,265千円	
	総事業コスト	15,062千円	9,853千円	13,985千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道監視センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(配水場修繕)

事務事業名	- 配水場内施設修繕工事業				指標名	修繕実績				指標種別	活動結果指標				指標の概要	-				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-				実績	10	-	9	9	-					その他の指標	-				
					H29年度				H30年度											
総合戦略	-				改善目標	各施設の重要度・能力・機能等を精査しながら、安定給水に必要な修繕工事を実施する。				改善目標	-				-	-				
	-																			
	-																			
市長公約	-				事業計画	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。				事業計画	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-															事業費(A)	10,666千円	5,588千円	9,720千円	0千円
根拠法令等	-															国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	平成30年3月31日現在、緊急工事を含め計9件の修繕を実施しました。				上半期活動実績	-				内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	執行体制	全て委託														その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	配水場等施設の適切な運転及び維持管理を実施し、お客様である水道使用者に安心してご利用いただける安全な水道水を常に安定的に供給するため。				成果	修繕体制を整え維持してきたことで、配水場等の設備機器の故障や異常発生時に、速やかな修繕を実施し、安定的な水道水の供給が行えた。				上半期成果	-				臨時職員等	-	無	無		
																事業コスト(A+B)	15,062千円	9,853千円	13,985千円	
事業の概要	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。				課題	-				課題	-				H31年度当初積算根拠	-				
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度の方向性	-	理由	-				
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-				-	-	-				
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-										
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-										